

ラマン顕微鏡を用いた組織観察の基礎検討に関する多機関共同研究

1. 研究の対象

国立がん研究センター東病院で2018年1月1日から2028年12月31日までに組織を採取する検査(生検・手術)を受けた成人の方(包括的同意取得済みの方)

2. 研究目的・方法

生体組織に光を当てた際に生じる表面・内部の反射・吸収・屈折・散乱などの現象を精緻に測定するラマン分光法を用いた機器であるラマン顕微鏡を用いて組織の観察を行います。ラマン顕微鏡での観察は、光学顕微鏡で必須であった染色操作が不要となるため、近年注目されている組織の可視化技術です。ラマン顕微鏡で組織観察を行い、得られた情報が、今まで光学顕微鏡での観察で得られていた情報(例：分子発現、遺伝子変異の有無、治療効果、予後予測)と一致するかについて解析を行います。

研究実施期間：研究許可日～2028年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、採血検査値 等

試料：生検・手術で採取した組織検体

4. 外部への試料・情報の提供

本研究に関する解析業務は大阪大学に委託します。大阪大学へのサンプル・データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

本研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関(試料・情報の授受を行う機関すべて)公式ホームページ等にて情報公開いたします。

・国立がん研究センターが参加する研究の公開情報については国立がん研究センターの公式ホームページより確認することができます。

<https://www.ncc.go.jp/jp/>

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 石川 俊平
大阪大学 大学院基礎工学研究科 システム創成専攻 電子光科学領域 南川 丈夫

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

(研究責任者)

国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 石川 俊平

(研究事務局)

国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科 笹原 有紀子

〒 277-8577

住所 千葉県柏市柏の葉6丁目5-1

電話番号 04-7133-1111